

ひるげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート

花をツールに、地域住民と交番の絆を深める

交番花くらぶ (代表: 武内香氏、会員38人、加古川市)

安全安心のシンボル「まもる君」

交番花くらぶは、花をツールとして地域に開かれた親しみやすい交番をとの思いのもと、平成20年に設立され、加古川警察署管内の20交番と1駐在所の前に、大型プランターの花を設置し、敷地内に花壇のある交番はその整備など、四季折々に花の植栽と保守管理を行っている。



日々の手入れの中で、警察官と会話を交わして、地域住民と交番の絆を深めるとともに、会員以外の人々にも気軽に交番に立ち寄ってリアルタイムに地域情報が行き来する環境をつくることで「防犯の目」を増やし、「安全で安心なずっと住み続けたいまちづくり」に取り組んでいる。

同クラブの安全安心のシンボル犬「まもる君」のユニークなメニューは、平成23年にJR加古川駅南広場に設置され、駅を行き来する人々を優しく見守っている。また、地元製菓業者の協力を得て、まもる君をあしらったドラ焼きを作り、広く安全安心なまちづくりのために活用することを目的に「安全安心基金」としてその利益は積み立てている。



花咲く交番にメンバーの笑顔の花も添えて、「明るく元気！」が印象的な交番花くらぶ、今後の活動展開が楽しみである。

※交番花くらぶ事務局

080-3131-5988 (代表 武内氏)



「ご近所の底力」が地域力を高める!

～ 灘防犯協会鶴甲支部 (神戸市灘区) ～



ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談

平成25年7月1日開設



日常生活の中で、地域の安全・安心にかかる異変に気づいたら、お気軽に「SOS キャッチ電話相談」に通報・相談してください

身近な異変に気づいたら…

通報先に迷ったら…

078-341-1324
※電話相談のみ 祝日・12/29～1/3 除く
専門機関や警察などに迅速・適切につなぎ、早期の対応を図ります

兵庫県・兵庫県警察

一回防犯メモ

『地域安全まちづくり推進員』は、兵庫県知事が委嘱したボランティアで、安全で安心な地域社会づくりに向けた活動を行うリーダーとして、地域安全まちづくり活動の先導やグループの連携・交流の促進などを行っています。

地域安全まちづくり推進員とともに、安全・安心なまちづくりに取組みましょう。詳しくは、

地域安全まちづくり推進員 検索

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内
電話・FAX: 078-362-1071
e-mail: hyogo@bouhan-suishin.gr.jp
URL: http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。



町会を越えた広域防犯パトロール

～ 鳴尾西校区10町会防犯パトロール会 (西宮市) ～

マモリンレポートとは

- マモリンレポートでは、県民のみなさんによる地域安全まちづくり活動の参考となるよう、まちづくり防犯グループ等の特徴的な取組を紹介します。
- 「マモリン」とは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会のシンボルキャラクターです。





Report.1

「ご近所の底力」が地域力を高める!

～ 灘防犯協会鶴甲支部 (神戸市灘区) ～

防犯みはり運動で、地域全体が高い防犯意識を維持

神戸市灘区の六甲山の麓に位置する鶴甲地区では、玄関先に貼られた「警戒中」のステッカーを至るところで見かける。



灘区内で始まった「灘・防犯みはり運動」は、1日に2回程度、玄関から一步外に出て周囲を見回り犯罪を抑制しようとするもので、平成16年に灘区全体の取組みになり、鶴甲地区でも地域住民に協力を依頼し、玄関先にステッカーを貼るよう呼びかけた。運動開始から数年が経過し色褪せてきたステッカーは、定時パトロールの際に住民に声をかけて貼り替え、住民同士のコミュニケーションも図っている。また、地区内の掲示板の防犯情報紙も、パトロールの際に貼り替えられている。



地域安全まちづくり推進員が活躍中

メンバーの中には「地域安全まちづくり推進員」が多く在籍し、率先して活動に参加している。特に夜間パトロールでは、「ひろげよう地域安全まちづくり」のステッカーを貼った車に乗り込み、拡声器を手に、振り込め詐欺などその時々に応じた注意を呼びかけている。窓を開けて広報をするため、冬は極寒のパトロールになるが、地域住民の「パトロール中の声を聞くと安心する」という感謝の言葉を励みに、継続して行っている。



支部長 木村 要子さんの声

支部の活動は、役員と多くのボランティアの理解と協力を得て行っています。定時パトロールは10年以上続き、夜間パトロールは6年を過ぎ、年末の夜回りは18年目を迎え、自治会の青色防犯パトロールも参加してくれています。活動の時は、手作りの「防犯カード」を携行し、「灘・防犯みはり運動」も発足当時からずっと続けており、犯罪抑止に役立っています。今後も鶴甲の安全・安心の為に近所との絆を深め、皆で仲良く楽しく、無理をしないで長く防犯活動を続けていきます。



前列右から3番目が支部長 木村要子さん

(支部長の木村さんは、平成25年度近畿防犯協会連絡協議会「防犯功労者表彰」を受賞。)

グループの紹介 灘防犯協会鶴甲支部

灘防犯協会鶴甲支部は、平成5年に再発足し、地域のイベントへの参加から徐々に活動を広げていき、平成16年にはまちづくり防犯グループとしても登録し、各種パトロール等を精力的に行っている。



Report.2

町会を越えた 広域防犯パトロール

～ 鳴尾西校区10町会防犯パトロール会 (西宮市) ～

八十八箇所巡りならぬ、88箇所巡回パトロール

西宮市立鳴尾小学校の校区内にある10町会が一丸となって広域防犯パトロールや子どもの見守り活動を展開している。

毎月10日は夜間パトロールの日で、30～40名が公民館に集合し、ブロック毎に分かれて、徒歩でパトロールを行う。重点箇所は、四国八十八箇所巡りになぞらえて、校区内に88箇所設定。町会毎に自治会館をスタート



にして、暗い場所や公園、店舗等で重点箇所を決めており、拍子木を鳴らしながら、校区内をくまなくパトロールする。

夜間パトロールには、鳴尾小学校の校長も参加し、情報交換も行う。また、10町会には合わせて425灯の防犯灯が設置されており、パトロールをしながらその点検・管理も行い、明るい夜道を心がけている。



小学校にパトロール会員の顔写真が“ずらり”



会長 水野 喬司さん

鳴尾小学校には、2箇所にパトロール会員の顔写真が掲示されており、児童にも顔がわかるよう工夫されている。また、活動する際には、会員一人一人がジャンパーと顔写真付きの名札を身につけており、付き添い下校やウォークラリーを通じてコミュニケーションを図りつつ、児童の安全に努めている。



このグループの、ここがポイント!!
子どもが多い地域だからこそ、子どものための活動を

会長 水野 喬司さんの声

当会の結成は、西宮市鳴尾小学校校区の自治会防犯部を主体として発足し、本年で10年目を迎えましたが、さらに、18年前から有志だけで自主防犯活動としてパトロール活動を行っておりましたのが、ベースとなっております。発足と同時に、鳴尾小学校と提携し、登下校時の見守りと年に4回の各自宅までの下校時付添と「子ども110番」パネル掲示場所調査下校等の活動を行っております。

これからも年代を問わず、多くの方々に気楽に参加してもらえ、楽しく、犯罪のない明るいまちづくりの会に邁進していきます。

グループの紹介 鳴尾西校区10町会防犯パトロール会

空き巣等の侵入犯罪や、子どもが被害者となる事件が増加したこと等から、「自分たちのまちは自分たちの手で守ろう」という機運が高まり、10町会から防犯部員を集め、一丸となって広域防犯パトロールや子どもの見守り活動を行うため、平成16年4月に「鳴尾西校区10町会防犯パトロール会」を発足した。

平成22年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。

